

第149期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで





代表取締役社長 社長執行役員

戸上 信一

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましてご報告いたします。

■企業集団の現況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、資源価格の高止まりや世界的な金融引き締め、円安の進行を背景とした物価上昇など、先行き不透明な状況が続いておりますが、雇用や所得環境が改善する中で経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、全社的な業務改善とムダの廃除やDX推進等を柱として安全・品質・コスト・納期の最適化や販売価格の適正化に取り組んでまいりました。

その結果、電磁開閉器や電力会社向け配電自動化用子局の需要は減少したものの、配電用自動開閉器や配電盤及びシステム機器の需要が堅調に推移したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,704百万円(前年同期比11.5%増)となりました。

損益面につきましては、売上高の増加や一部製品において材料コストの上昇に伴う価格改定を実施したことなどにより、営業利益は840百万円(同106.3%増)、経常利益は1,068百万円(同47.2%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、706百万円(同30.4%増)となりました。

品質方針

『お客さまが最大に満足される商品を提供します』

環境方針

当社は、環境問題が人類共通の重要課題であることを認識し、「社会を・地球を・未来を豊かに」をスローガンとして、企業活動のあらゆる面で法令を遵守し、環境との共生を目指します。

健康経営

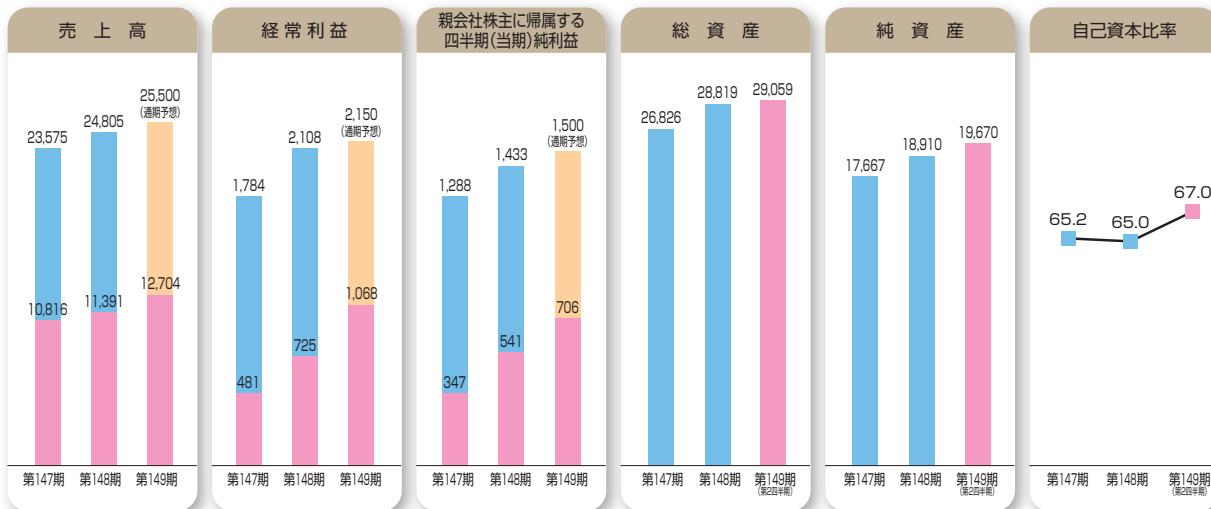
当社は、品質方針である「お客さまが最大に満足される商品を提供します」を実現するためには、社員全員が健康でイキイキと働き、活力のある会社である必要があると考えます。そのため、社員本人に限らず家族を含めて健康増進・維持が将来的に会社の成長に必要不可欠と考え、社員の健康増進・維持を経営課題の一つとして健康増進活動を推進します。

営業の概況



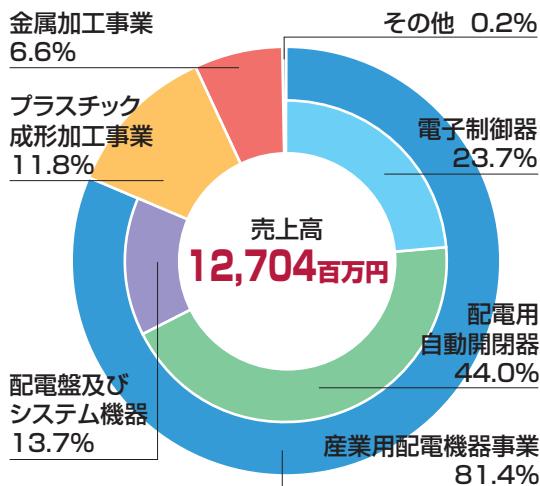
業績ハイライト

■第2四半期 ■通期 (単位: 百万円・%)

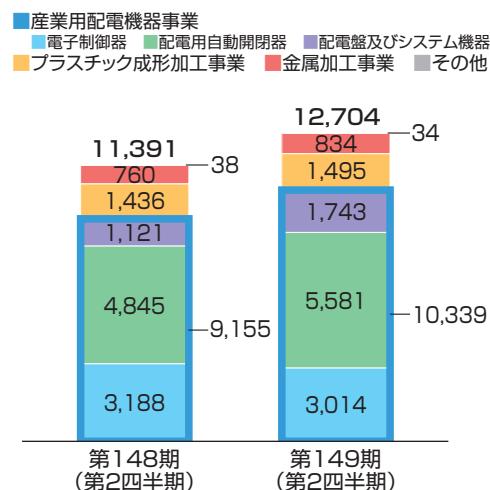


セグメント別売上高の概況

セグメント別売上高構成比



セグメント別売上高 (単位: 百万円)



セグメント別売上高の概況



■電子制御器（産業用配電機器事業）

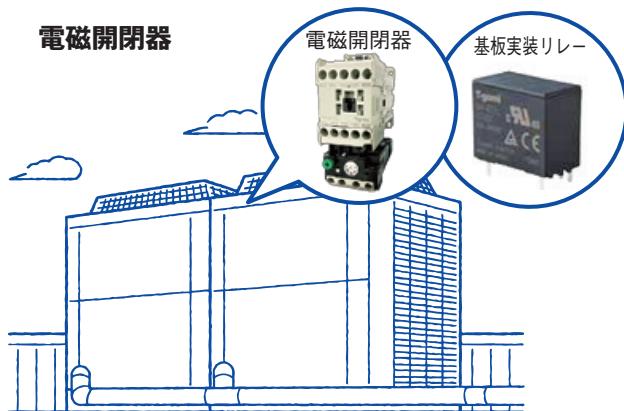
売上高 **3,014** 百万円（前年同四半期比5.5%減）

電磁開閉器につきましては、欧州環境対応機器などによる海外向け需要が好調に推移しましたが、一部海外向けにおいて計画を下回ったことにより、売上減となりました。

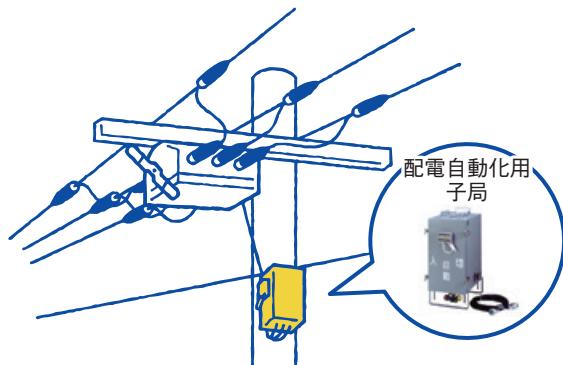
電力会社向け配電自動化用子局につきましては、一部製品において部品入荷が滞り生産に影響が生じたため、売上減となりました。

その結果、電子制御器全体の売上高は3,014百万円（同5.5%減）となりました。

電磁開閉器



電力会社向け配電自動化子局



■配電用自動開閉器（産業用配電機器事業）

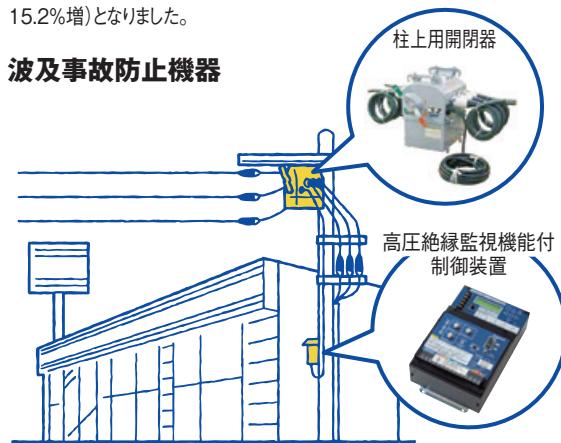
売上高 **5,581** 百万円（前年同四半期比15.2%増）

主力製品である波及事故防止機器（通称SOG開閉器）につきましては、継続的に回復してきた需要に加え、一部製品の価格改定に伴い、売上増となりました。

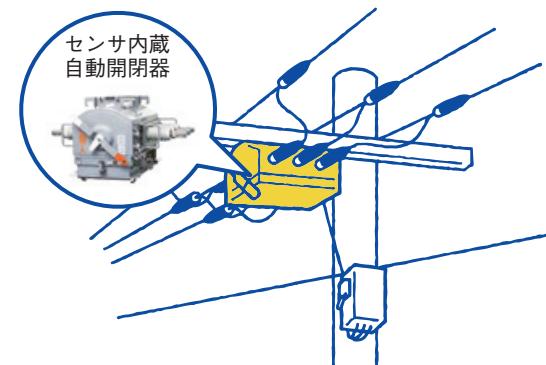
電力会社向け配電用自動開閉器につきましては、次世代型への更新需要の拡大や配電設備の取付工事の推進などにより、売上増となりました。

その結果、配電用自動開閉器全体の売上高は5,581百万円（同15.2%増）となりました。

波及事故防止機器



電力会社向け配電用自動開閉器



セグメント別売上高の概況



■配電盤及びシステム機器（産業用配電機器事業）

売上高 **1,743**百万円（前年同四半期比55.5%増）

配電盤につきましては、調達部品の入荷遅延の影響や案件先送りなどがあったものの設備更新案件や定期メンテナンス等の需要により、売上増となりました。

システム機器につきましては、新規顧客の開拓や設備更新工事等の需要の増加、排水処理施設に関する工事案件数の増加により、売上増となりました。

その結果、配電盤及びシステム機器の売上高は1,743百万円（同55.5%増）となりました。

配電盤



システム機器（水処理システム）



■プラスチック成形加工事業

売上高 **1,495**百万円（前年同四半期比4.1%増）

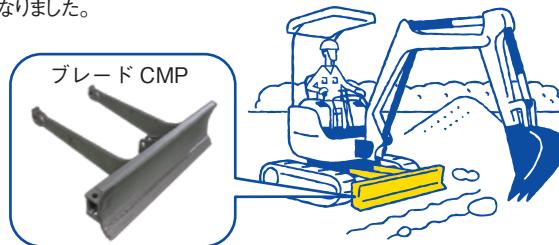
樹脂成形分野における部品等につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた自動車業界の需要が回復傾向に転じたことから、売上高は1,495百万円（同4.1%増）となりました。



■金属加工事業

売上高 **834**百万円（前年同四半期比9.7%増）

金属加工における部品等につきましては、産業用機械の需要が好調に推移したことから、売上高は834百万円（同9.7%増）となりました。



■その他

売上高 **34**百万円（前年同四半期比11.1%減）

プラスチック成形加工事業に付随する金型加工やソフトウェア開発等につきましては、需要が減少したことから、売上高は34百万円（同11.1%減）となりました。



■ SAGAものスゴフェスタ9への出展



当社ブースの様子

8月19日・20日に開催された「SAGAものスゴフェスタ9」へ出展いたしました。

本年度は「さがものづくり技能フェスタ2023」と合同で開催され、社長の戸上信一が実行委員会会長を務めました。

5月に開業したSAGAアリーナでの開催ということもあり、来場者が3万人を超えるなど大盛況でした。当社は銅板でカブトムシやクワガタムシを作成する体験ができるブースを出展し、たくさんの方に足を運んでもらいました。

また、イベント中に開催された「全日本製造業コマ大戦佐賀場所」にも出場し、優勝しました。

■ 国際農業機械展 in 帯広 2023への出展



当社ブースの様子

7月6日から10日にかけて、北海道帯広市で開催された「第35回国際農業機械展 in 帯広 2023」へ初出展いたしました。期間中の来場者数は約16万人で、当社ブースにも多くのお客様にお立ち寄り頂きました。

当社ブースでは、当社の独自技術である「消化液排水処理」「スラリー排水処理」や「廃棄乳処理剤」などを中心に展示やデモを行い、特に牛乳を固形物と液分に分離する廃用乳処理剤「アルファ」のデモは、近年生乳の大量廃棄を背景とする処分方法が問題となっていることから、関心が高まっており大変好評でした。

連結決算の概要



●四半期連結貸借対照表

(2023年9月30日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	19,786,741	流動負債	6,438,017
現金及び預金	6,324,536	支払手形及び買掛金	2,212,834
受取手形、売掛金及び契約資産	5,392,138	電子記録債務	1,681,117
電子記録債権	1,136,896	短期借入金	328,000
商品及び製品	1,447,663	未払法人税等	370,328
仕掛品	1,498,539	賞与引当金	743,119
原材料及び貯蔵品	2,690,768	完成工事補償引当金	8,842
その他	1,296,198	その他	1,093,775
固定資産	9,273,170	固定負債	2,951,523
有形固定資産	4,892,231	退職給付に係る負債	2,825,332
無形固定資産	413,411	その他	126,190
投資その他の資産	3,967,528	負債合計	9,389,540
その他	3,970,628	(純資産の部)	
貸倒引当金	△3,100	株主資本	18,786,603
資産合計	29,059,911	資本金	2,899,597
		資本剰余金	580,212
		利益剰余金	15,379,436
		自己株式	△72,642
		その他の包括利益累計額	685,824
		その他有価証券評価差額金	372,066
		為替換算調整勘定	313,988
		退職給付に係る調整累計額	△230
		非支配株主持分	197,942
		純資産合計	19,670,371
		負債純資産合計	29,059,911

●四半期連結損益計算書

(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

(単位:千円)

科 目	金 額	金 額
売上高		12,704,350
売上原価		10,141,242
売上総利益		2,563,107
販売費及び一般管理費		1,722,780
営業利益		840,326
営業外収益		
受取利息	1,322	
受取配当金	24,995	
為替差益	157,767	
鉄屑売却収入	4,794	
その他	45,551	234,431
営業外費用		
支払利息	1,258	
投資有価証券売却損	1,830	
固定資産除却損	1,530	
その他	1,404	6,024
経常利益		1,068,734
特別利益		
固定資産売却益	171	171
税金等調整前四半期純利益		1,068,905
法人税、住民税及び事業税	348,624	
法人税等調整額	1,500	350,125
四半期純利益		718,780
非支配株主に帰属する四半期純利益		12,201
親会社株主に帰属する四半期純利益		706,579

●子会社の状況

株式会社戸上デンソー 佐賀県佐賀市大財5丁目7番25号

株式会社戸上コントロール 佐賀県佐賀市久保泉町大字下和泉3144番1号

株式会社戸上化成 佐賀県佐賀市久保泉町大字下和泉2778番1号

株式会社戸上メタリックス 佐賀県佐賀市久保泉町大字下和泉3200番1号

株式会社戸上電機ソフト 佐賀県佐賀市大財北町1番1号

東京戸上電機販売株式会社 東京都目黒区青葉台4丁目1番13号 戸上ビル

(国 外)

戸上電気(蘇州)有限公司 中国 江蘇省常熟市東南経済開發区新安江路環湖宏順工業坊19棟

戸上電子(常熟)有限公司 中国 江蘇省常熟市経済開發区海城工業園13棟

会社概要



●会社概要 (2023年9月30日現在)

商号 株式会社戸上電機製作所 (Togami Electric Mfg. Co., Ltd.)
代表者 代表取締役社長 社長執行役員 戸上 信一
本社 佐賀県佐賀市大財北町1番1号
TEL0952-24-4111 (代表)
設立 1925年3月12日
資本金 28億9,959万円
株式市場 東京証券取引所 (スタンダード市場)
従業員数 1,106名 (連結) 451名 (単体)
主な取引銀行 佐賀銀行、三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行

●役員の氏名 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員 戸上 信一
取締役 上席執行役員 堤 俊樹
取締役 上席執行役員 野中 政則
取締役 上席執行役員 仁部 和浩
取締役 上席執行役員 桃崎 泰彦
取締役 監査等委員 戸上 孝弘
社外取締役 監査等委員 田中 恵子
社外取締役 監査等委員 古谷 宏
執行役員 蒲原 啓輔
執行役員 桃崎 貴彦
執行役員 小柳 義章

(注)社外取締役監査等委員 田中恵子・古谷宏の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

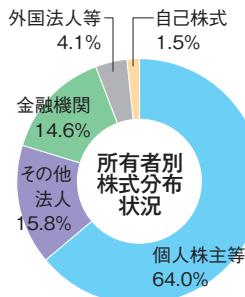
●株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 18,800,000株
発行済株式の総数 5,028,658株
株主数 3,881名

●大株主 (2023年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社戸上ビル	478,535	9.65
戸上電機取引先持株会	281,115	5.67
株式会社三井住友銀行	220,056	4.44
株式会社佐賀銀行	220,000	4.44
戸上 信一	218,133	4.40
戸上電機製作所従業員持株会	194,322	3.92
戸上 鴻太郎	133,900	2.70
日本生命保険相互会社	120,079	2.42
戸上 千裕	113,300	2.28
戸上 孝弘	100,181	2.02

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。



●拠点一覧



●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号
・電話照会先	TEL0120-232-711 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。(当社ホームページに掲載。)但し、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
金融商品取引所	東京証券取引所 (スタンダード市場)